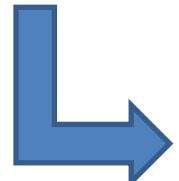


ラテックスアレルギーとは？

- ・天然ゴム(natural rubber latex)製品に含まれるラテックス蛋白質に感作される即時型アレルギー反応 IgE抗体が関与する
 - ・ラテックス製品によって蕁麻疹、呼吸器症状、アナフィラキシーを起こす
- ★ 接触性皮膚炎…天然ゴム製品の製造過程で、添加される化学薬品が原因で起こる湿疹



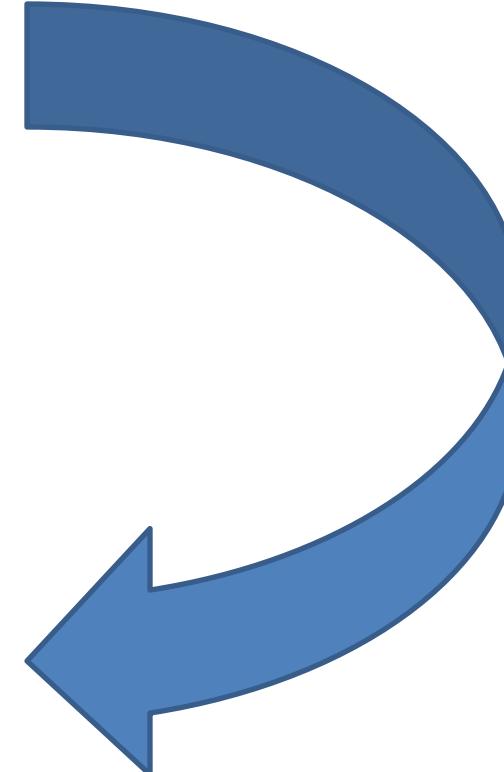
遲発性アレルギー

ラテックスアレルギーの背景

- ・ 感染防御対策のため、医療現場においてラテックス製手袋の使用が劇的に増加し、アレルギー性の高い蛋白質含有量が多い手袋が多量に市場に供給されたことが患者增加の要因とされている。
- ・ 最も多いのはゴム手袋を使う医療従事者（特に歯科医）
- ・ 医療従事者の3～12%、一般の人の1～6%が罹患しているとされている。

ラテックスアレルギーの臨床症状

- ・接触部位の搔痒感 や紅斑
- ・蕁麻疹
- ・鼻汁やくしゃみ
- ・喉の痒み
- ・目の刺激
- ・喘息（息苦しさ、咳、喘鳴）
- ・アナフィラキシーショック
- ・血圧低下
- ・呼吸困難



重篤症状へ
発展

ラテックスフルーツ症候群

- ・ ラテックスアレルギー患者の3–5割は、クリやバナナ、アボカド、キウイといった植物性食品を摂取した際に、即時型アレルギー反応を経験する。
- ・ 果物や野菜に含まれる抗原とラテックス抗原との交叉反応性に起因している。

＜ラテックスフルーツ症候群の代表的な食品＞

- ・ アボカド バナナ 栗 キウイ マンゴー 桃
- ・ イチジク パイナップル パパイヤ 西洋梨
- ・ パッションフルーツ クルミ ヘーゼルナッツ
- ・ アーモンド グレープフルーツ メロン イチゴ
- ・ ジャガイモ トマト ほうれん草 レタス セロリ
- ・ 多種スパイスなど

ラテックスアレルギー ハイリスクグループ

1. 全身的な反応を引き起こす危険性が高いグループ

- ・二分脊椎症などの骨髄異型性や性泌尿器の先天性異常のため生後まもなくから繰り返し手術を受けてきた者。または、医療用具・機器による補助措置を繰り返し長期に渡って受けてきた小児患者。
- ・原因が不明確なアレルギー反応や喘息様の発作などラテックスアレルギーに相当するような症状を手術中に経験したことがある者。
- ・ラテックス抗原特異的IgE抗体価が陽性の者。または、ラテックス抗原を用いたプリックテストが陽性の者。
- ・天然ゴム製品と接触した際に、蕁麻疹や結膜炎、喘息、気管支喘息様症状など即時型アレルギー反応を経験したことがある者。

2. ラテックスアレルギーを起こす可能性が高いグループ

- ・パウダーが塗布された天然ゴム製の手袋を使用している者。空中に飛散したラテックス抗原に暴露される危険性がある職業に就いている者。
- ・天然ゴムとの交叉反応性が知られているバナナやキウイ、アボガド、ポテト、トマト、パパイヤ、クリなどの食物性食品に対するアレルギー反応を経験したことがある者。
- ・天然ゴム製の手袋に対する接触皮膚炎を経験したことがある者。

3. ラテックスアレルギーについての診断をうけるべきグループ

- ・原因不明のアナフィラキシーショックを経験したことがある者。特に、医療措置や歯科治療中に起こったことがある者。
- ・歯科治療や婦人科的な診療、あるいは風船、コンドーム、天然ゴム製の手袋への接触など天然ゴム製品への偶発的な曝露の後、蕁麻疹や痒みを経験したことがある者。
- ・何度も手術を経験したことがある者。

ラテックスアレルギー患者への安全対策

- ・アレルギーの有無の確認
- ・ラテックスアレルギーのハイリスクグループに属していないか確認
- ・パッチテスト、プリックテスト、血液検査
- ・1症例目での入室扱いにする
- ・ラテックスフリー製品で対応
- ・アレルギー患者であることを明記し、手術室全体で情報共有
- ・緊急時の薬剤準備
- ・アレルギー症状が出現していないか確認

まとめ

- ・手術室でラテックスアレルギー急変を発症させないためにも**第一に事前の予防対策が重要**
- ・情報収集、術前の問診でアレルギーの確認を欠かさない
- ・医療従事者はラテックスアレルギーの危険性を理解しておく
- ・手術室全体でラテックスアレルギー情報を共有し対応していく

参考資料

- ・日本ラテックスアレルギー研究会 ガイドライン2013
- ・日本手術看護協会
手術看護手順ラテックスアレルギー患者への安全対策